

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	A	入居者の加齢と疾病(認知症)の進行に伴いADLが低下してきているが、(経験不足のため)職員の介護技術や知識が追いつかなくなっている。	介護技術・知識を向上し、利用者様やご家族様にとって安心して生活できる空間を確立していく。	指導者による日々の指導や内部研修に取り組み、外部研修にも参加し、内部研修で周知していく。	12ヶ月
2	B	現在までターミナルケアに取り組んだことがない(ターミナルケアの対象となる入居者がいなかった)が、今後は本人または、家族が希望された場合はターミナルケアを行っていく必要があると思う。	ターミナルケアへの取り組み	外部研修・内部研修・指針についてのマニュアル作成・職員の不安解消対策 等	12ヶ月
3	C	介護記録の書き方がバラバラでまとまっていないため、要点が把握しにくいことがある。	簡潔で読みやすい介護記録の書き方	外部研修・内部研修にて統一を図る	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。